

Samba 3.0で日本語を利用できるようにしたパッケージ集

2004/4/12 小田切耕司 <odagiri @ samba.gr.jp>

機種依存文字などの日本語をSamba3.0で利用するにはsmb.confに以下の設定が必要です。

<MIRACLE LINUXやRed Hat9以前の場合 >

```
[global]
    dos charset = CP932
    unix charset = EUCJP-MS
    display charset = EUCJP-MS
```

<Fedraの場合 >

```
[global]
    dos charset = CP932
    unix charset = UTF-8
    display charset = UTF-8
```

CP932やEUCJP-MSを利用するにはglibcもしくはlibiconvに修正を加える必要があり、Samba 3.0のRPMにはglibc版とlibiconv版の2つが存在します。

glibc版

glibcにCP932対応の修正が必要となります。

<http://www2d.biglobe.ne.jp/~msyk/software/glibc/>

長所

samba.orgにあるオリジナルSamba 3.0のRPMがそのまま利用できます。

短所

LinuxディストリビューションのglibcのUPDATEを適用すると修正が無効化されSamba3.0で日本語を利用すると問題が発生します。

libiconv版

libiconvにCP932対応の修正が必要となります。

<http://www2d.biglobe.ne.jp/~msyk/software/libiconv-patch.html>

長所

LinuxディストリビューションのglibcのUPDATEを適用してもSamba3.0に影響しません。

短所

samba.orgにあるオリジナルSamba 3.0のRPMは利用できず、libiconvを利用するようにSamba3.0をconfigureし直す必要があります。